

環境にやさしいまちづくりキャンペーン

4月から平成28年3月まで期間限定の下水道接続補助を行います。小松の豊かな環境を未来へ残していくために、下水道に接続しましょう。

問い合わせ 料金業務課(普及促進担当) ☎24・8098

公共下水道接続促進補助金制度

■高校生以下、65歳以上、障がい者のいる世帯が接続する場合

補助上限額 5万円(供用開始から1年以内の住宅)、2・5万円(供用開始から1年を過ぎた住宅)

■定住促進支援制度などを利用する場合

補助上限額 20万円

※対象となる制度は、「ようこそ小松」定住促進奨励金(購入・増築や3世代家族住宅建築奨励金(購入・増築)などです。

■アパートなどの集合住宅で合併浄化槽から接続する場合

補助上限額 10万円から100万円

※浄化槽の規模や供用開始時期によって変わります。
※予算が無くなり次第終了となります。

※原則、昭和56年以降(新耐震基準)に建てられた建築物が対象です。

■一般住宅で合併浄化槽から接続する場合

補助上限額 20万円

※供用開始から1年以内の住宅が対象です。平成27年4月から供用開始となる町内はページ下部をご覧ください。

注意事項

- ◎各補助制度の併用はできません。
- ◎工事は必ず市が指定した「小松市排水設備工事指定業者」へ申し込んでください。補助金の手続きについても、指定業者へご確認ください。
- ◎補助対象は4月1日から平成28年3月31日までに排水設備工事が完了するものに限ります。
- ◎新築の建物、また、工場や店舗など営業目的の建物は対象外です。そのほか、市税や水道料金などを滞納している場合も対象外となります。

平成27年4月から下水道供用開始となる町内について

全部または一部が供用開始となる町内は、次のとおりです。前川町、梯町、高堂町、沖町、白江町、若杉町、今江町、串町、河田町、埴田町、希望丘、湯上町、上荒屋町、四丁町

下水道の無利子貸付制度について

◎住宅用 限度額100万円、最大96回払い ◎事業所・集合住宅用 限度額500万円、最大60回払い
※住宅用、集合住宅用の貸付制度は上記の公共下水道接続促進補助金制度と併用できます。

水道利用についてのお願い

水道の使用開始、使用停止、使用者変更の申し込みは、希望する日の2日前(休日を除く)までにご連絡ください。

問い合わせ 料金業務課(料金管理担当) ☎24・8111

水道メーターの周辺は検針をしやすく配慮をお願いします。



和田市長に「こ」が聞きたい!

▼今月のテーマは「平成27年度予算」です

こまつちゃん ●平成27年度予算に込めた市長の考えをお聞かせ下さい。

和田市長 ●政府が進める地方創生2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催、北陸新幹線金沢―敦賀間開業の3年前倒しなど、社会は大きな変換期を迎えます。小松市としても、2025年をターゲットにした「20x10年ビジョン」を新たに策定し、国の大きな制度改革を先取りした政策を更に展開していきます。

こまつちゃん ●具体的には、どのような事業に取り組んでいきますか。

和田市長 ●主な事業に、まず「こまつ創生戦略」の柱として、人材育成があります。現在、公立4年制大学設立協議会において、小松短期大学とこまつ看護学校の再編に向け集中審議を行っています。地域医療や未来の産業を担うグローバル人材の育成を目指す教育機関へ成長します。

やさしいまちづくりとしては、4月から18歳以下・第3子以降の子供



の保育料を、10月からは18歳以下の全ての子供の医療費窓口負担を無料にします。また、環境に優しいエコなまちを目指して「仮称エコロジープークこまつ」を建設します。

更にこれからは、病気の治療だけでなく予防も考えなければいけない社会になってきます。特定健康診査等費、成人歯科口腔健康診査費、生活習慣病予防対策推進費を計上し、早期発見・早期対策に向けた予防対策に取り組めます。

市民の皆様一人ひとりの幸せを応援していくために、そして小松市が「北陸の際立ったまち」へと成長していくよう、心を込めて全力で取り組んでまいります!



サウダージ

今回はポルトガル語の大事な感情表現を紹介します。

誰にでも、懐かしさや郷愁、憧れ、思慕、切なさ、人恋しい思いを感じたことがあると思います。例えば、昔の友人や青春時代を思い出して、良かったな、あの頃に戻りたいなど感じる瞬間。好きな人やペットと一緒に居た時間を思い出して胸がギュッとなった瞬間。このような喜びも悲しみも含む、複雑に重なった多様な気持ちをポルトガル語では、一つの言葉「Saudade(サウダージ)」で表します。

今年の始めにブラジルへ一時帰国してからまた日本に戻ってきたとき、まさにサウダージを感じました。ブラジルの家族や友達が恋しくなり、どこへ行ってもブラジルに関するものを目で追ってしまうのです。ふとした瞬間にブラジルのことが思い出され、懐かしさと寂しさ、そして頑張ろうという気持ちが同時に湧いてきます。この目まぐるしく感情が移り変わる状態を、ポルトガル語ではほんの一言「ああ、サウダージを感じる!」と表現します。サウダージは他の言語に訳すのは不可能だと言われています。

このサウダージという言葉は日本でも耳にします。映画や歌を始め、ラジオ番組もあります。サウダージという感覚が日本人にも知られてきているようでとても嬉しいです。皆さんが人生の中で一番サウダージを感じるのは誰、何、いつでしょうか。



▶ブラジルの1月31日はサウダージの日です。一時帰国した時にパバと。

皆さんからのご意見や感想をお待ちしています。 国際都市推進課 ☎24・8039 kokusai@city.komatsu.lg.jp